

消 こんにちは！
費生活相談室です 112
 消費生活相談室 ☎47-1106 FAX44-7957

◆事例
 職場にマンションの購入を勧誘する電話がかかった。興味がないので切ろうとするが「節税対策にマンションを購入し、賃貸に出せば絶対にもうかる。損はしない」などと強引に長時間に渡って説明された。何とかその場は電話を切ることができて再度かかってくる。仕事中でもあり非常に迷惑。
 ※勧誘にはこんな傾向があります
 ◇販売目的を告げず、業者名を名乗らない。
 ◇「家族に資産が残せる」「豊かな老後が見込める」「絶対にもうかる」などの説明をしてくる。
 ◇断つてもたびたび電話をかけ続け、会って話す約束をするまで電話を切らない。

◆相談受付時間 毎週月～金曜日
 午前9時～正午・午後1時～4時

◆長時間にわたり勧誘され、断ると脅してくる。
 ◇考える時間を与えず即決を迫る強引な勧誘。
◆アドバイス
 ◇マンションの購入を勧誘する電話とわかった時点で、買う気がなければ毅然と「いりません」「お断りします」と手短かに告げて電話を切りましょう。脅されても応じてはいけません。
 ◆職場に繰り返し電話がかかる場合は、職場に事情を話して電話を取り次がないよう協力を求めましょう。
 ◆契約した場合、要件が整えばクーリング・オフや契約の取り消しが可能なケースもあります。早めにご相談ください。
 ◆暴力を振るわれたり、脅された場合は警察へ届けましょう。

み みんなで拓く人権文化 98
 地域振興課人権政策室 ☎47-1102

残暑散々日々雑感
 例年になく暑い日が続いた今年の夏でした。このよくな日々の中「男女共同参画社会をめざして」をテーマに開催しています人権学習地区懇談会は、各会場の参加人数は決して多いとは言えませんが、この懇談会は、個々の自主参加を旨としていますので、なおさら、ご多用の中お出掛けいただいた皆さんの人権へのお気持ちを感じられ、大変ありがたく思っております。今後も数カ所で開催を予定していますので、多くの皆さんにお出掛けいただければ幸いです。
 また、市報7月号でもお知らせしましたが、7月10日～8月9日は部落解放月間になっており、8月3日・4日に倉吉市を中心とする各会場で「人権尊重社会を実現する鳥取県研究会」が開催されました。

境港市からは両日で延べ140人も皆さんの参加をいただき、県全体では延べ4千人を超える参加という大きな集会となりました。初日3日の全体会では、黒川みどりさん（静岡大学教育学部教授）の講演があり、近現代の歴史を通して、多岐にわたる資料から「差別」の本質に迫るお話をいただき、心に深く残るものがありました。自分自身も日々を振り返り、気持ちにゆとりを持つているだろうか、心のありように曇りはないだろうか、と考えることの多い2日間でした。「人権」と聞くと「堅苦しい」「難しい」といったイメージが先行しがちですが、「人権」は私たちの生活に密接にかかわっている身近なものです。私たちがお互いに相手を尊重し合い、皆等しく幸せに暮らしていくために、人権についての正しい知識を、これからも地域の皆さんとともに考え学んでいけたらと願っています。

今月のサロンコンサート

「Philja Autumn Live」

月とき・ところ 9月16日(金)午後7時30分～8時40分
 文化ホール(入場無料・飲み物は有料)

出演 Philja (フィルジャ)
 演奏曲 It's too late、世界への扉、Fly me to the moon ほか

日本人&フィリピン人によって結成された多国籍バンド、Philja。県西部のイベント等で活躍中です。今回は、ボサノヴァ、80年代のバラードなどを中心にお届けします。初秋の夜、癒やしのひとときをお過ごしください。

(問い合わせ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093)



お忘れなく！

**固定資産税 3期
 国民健康保険税 3期
 後期高齢者医療保険料 3期**

**の納期限は
 9月30日(金)です。**

・便利な口座振替をご利用ください。
 ・納期限内に納付がない場合、納期限後20日以内に督促状を発送します。

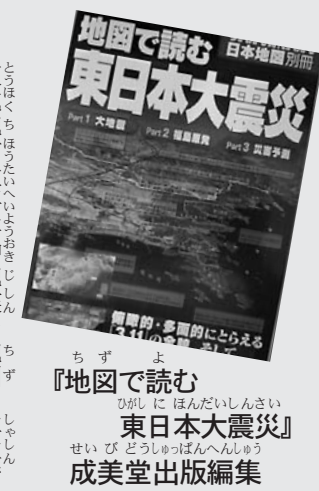
図書館に行こう！

(市民図書館 ☎47-1099 ホームページアドレス <http://lib.city.sakaiminato.tottori.jp/>)

『インド探訪』 タゴール 咲子
 詩聖タゴールの一族と結婚し、インドに生きる著者の現代インド探訪記。広大なインド社会・文化の格好の入門書。

『アイヌわが人生』 貝澤 正
 自然林の保護運動に立ち上がり、先住民との交流を求めて世界を旅し、生活の自立をめざして農林業に励んだ行動記録。

『透析生活17年』 山本 晃
 新聞記者の移植体験記



今月の新規・寄贈図書
 ◇ミサコの被爆ピアノ (松谷みよ子) ◇いま、地球の子どもたちは、売られていく子どもたち (貧困と飢餓) (本木洋子) ◇演歌は国境を越えた、黒人歌手ジェロ家族三代の物語 (小塚正記) ◇令嬢たちのロシア革命 (斎藤治子) ◇チエルノブイリの祈り (スベトラナ・アレクシエービッチ) ◇ガンダーラ美術に見るブツダの生涯 (栗田功) ◇描かれた被差別部落 (黒川みどり) ◇認知症の人々が創造する世界 (阿保順子) ◇感染症と文明 (山本太郎) ◇大震災の中で私たちは何をすべきか (内橋克人) ほか計402冊

図書館利用案内
 ◇開館時間 午前10時～午後6時
 ◇休館日 毎週月曜日・毎月末
 ◇貸出冊数・期間 一人5冊・2週間
 ◇絵本・児童書 新刊書のほか、読み継がれてきた名著がたくさんあります。

**あの写真
 この写真**



現在の同所撮影

境港市民会館 (昭和50年8月)

昭和31年「港湾を有する産業文化都市」建設を目指して新生境港市制がスタート。昭和41年、山陰地方唯一の開発拠点として、中海周辺の市町村が新産業都市の指定を受け、境港市はさらに「新産業港湾都市」の建設をスローガンとした

産業振興と市民福祉の向上に向け、市勢発展を期することになりました。
 全国的にも建設ラッシュの昭和40年代、本市でも昭和町工業団地造成、境水道大橋・中浦水門橋建設、竹内団地埋立事業などの港湾整備が着実に進み、文化面では市民図書館や幼稚園、公民館などの建設が行われ、市民待望の市民会館もこの時期に建設されたのです。
 市民会館は、昭和46年に用地取得、昭和47年から本格的建設に着手。翌年10月に完成して以後、現在まで文化交流や諸会合の拠点として市民の期待に応えてきています。
 写真は、昭和50年8月に市民会館を北東の方角から撮影したものです。駐車場の上が回廊をつなぎ、市役所と商工会議所の間に通じる階段も設置されていました。
 回廊に上る正面の階段(現在の保健相談センター付近)は、駐車場から市民会館、南の中央公園へとつながり、市民会館の周辺一帯が格好の市民憩いの場でもありました。
 現在、この正面の階段は取り壊されましたが、子ども連れの家族の階段を昇る光景が、懐かしくまぶしく心に残っています。(市史編さん室 小灘浩)